

# 自己評価結果公表シート(令和5年度)

学校法人 服部天神宮学園 服部幼稚園

## 1 本園の教育目標

「感謝の心とやる気を育てる」ことを教育の目標として、次の幼児像「敬神感謝の心を持ったあたたかい子ども・意欲を持って学習や遊びに参加する子ども・友だちと仲良くしてよい習慣を身につけていく子ども・まわりのことがらに関心をもち表現を豊かにする子ども」を掲げ、のびのびとした保育に取り組む。

## 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、行事等もコロナ禍以前に戻し、子どもの豊かな育ちのために保育内容の充実に努める。
- ・預かり保育の利用者が年々増える中、教職員や保育室を充足し、子どもが安心して過ごすことができる環境構成を構築させる。また、令和6年度より幼稚園型認定こども園に移行するための準備を進めていく。
- ・ICTシステムを活用し、保育の可視化の更なる充実に努める。
- ・園舎のサッシ改修及び塗装整備工事の計画を進める。

## 3 評価項目と取組状況

評価項目	取組み状況
預かり保育の充実	預かり保育の利用数が年々増加する中、担当する教職員や保育室を充足し、縦割りでの保育を充実させ、子どもが安心して過ごせる環境構成を構築させることができた。
教職員の資質向上への取組み	教職員の学びの機会を保障し、各々の課題を見出し、研修に参加し、専門性を高め、保育の充実に努めることができた。
保育の可視化の更なる充実	ICTシステムを活用し、ドキュメンテーションで、保育内容を保護者の方に理解していただく機会を充実させることができた。
安全衛生管理への更なる強化	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、行事等もコロナ禍以前に戻し、感染予防対策を引き続き実施しながら、子どもの豊かな育ちのために保育内容の充実に努めた。 また、自然災害に対する備えを強化し、教職員の危機管理への意識を高め、様々な場合にも全ての職員がすばやく対応できるように努めた。
小学校との連携と地域への開放	今年度は年長児が地域の小学校を体験する機会を設けることができ、地域の小学校との就学前の連絡会や、個別での訪問等で就学前の情報交換をし、連携を図ることができた。地域の未就園児親子が参加し、子育てを支援する機会を充実させた。

## 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、行事等もコロナ禍以前に戻し、感染予防対策を引き続きしながら、子どもの豊かな育ちのために保育内容の充実に努めることができた。  
また、ICTシステムを活用し、保育内容をドキュメンテーションで保護者の方により理解して頂くことができた。  
各々が課題とする研修会に参加し、専門性を高め、保育内容の充実に努めることができた。  
子どもたちが主体的に取り組めるように日々の保育内容について十分に話し合う機会を設け、実践することにより、保育内容や環境構成の充実に努めることができた。

## 5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
預かり保育の充実	来年度幼稚園型認定こども園に移行することで、2号認定児を担当する教職員や保育室を充足し、縦割りでの保育を充実させ、子どもが安心して過ごせる環境構成を構築させる。
保育内容・環境構成の充実	個々の子どもの発達を理解し、主体的に子どもが活動できるように保育内容や環境構成を充実させる。
情報発信のリニューアル化	入園パンフレットやホームページのリニューアル化を図り、地域の方や保護者に園の保育内容をより分かりやすく情報発信する。

## 6 学校関係者評価

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したが、引き続き感染対策をしながら、保育内容の充実に努めていた。また、行事の際には近隣への細かい配慮が感じられる。園舎のサッシ改修工事や塗装工事等を実施し、園舎の整備に努めていることや、教職員一人一人が日々努力し、教育理念を理解し、資質向上に努めていることが評価される。

## 7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。